

市内で行われた活動やイベント
を紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

冬の幸、海の幸、郷土の幸 七尾を食べ尽くし!

七尾の冬といえば、何といっても豊富な海の幸。地元で獲れる魚介類は、多くの人を魅了する。ブリ、タラ、カキ、ナマコなど数多くの七尾を代表する海の幸が市内のいたるところで堪能できる。この豊富な食の地元『七尾』を改めて再認識してみても、食について新たな気づきがあるかも…。



⑪ ▲カキを炭火コンロで焼いている来場者



② ▲多くの来場者でいっぱいの中



③ ▲タラ料理を口いっぱいほお張る参加者



④ ▲タラ尽くしに、タラフク食べる参加者



⑤ ▲調理したナマコ料理を食べる児童たち



⑥ ▲ナマコを一生懸命調理する児童たち



⑦ ▲大きな口でカキカレーを食べる園児



⑧ ▲一緒に食事する市長や地元の方



最優秀賞：
「春まち 能登鍋」
(民宿せがわ)



優秀賞：
「海と畑の能登ミルク鍋」
(交流市場)



優秀賞：
「姫鱈いしりの粕鍋」
(まいもん処 いしり亭)

①②能登かき祭り特別イベント（能登中島駅前広場）：1月24日と25日の2日間、能登中島駅前広場で「能登かき祭り」特別イベントが行なわれ、地元からも市外からも多くの人で賑わった。

③④のとじまごっつおまつり特別イベント（能登島シーサイドハウス）：2月8日に能登島須曾町で「のとじまごっつおまつり」特別イベントが行なわれた。起舟御膳のタラ尽くし料理に参加者は満喫した様子。

⑤⑥ナマコさばき方教室（石崎小学校）：2月17日、石崎小学校で「ナマコさばき方教室」が行なわれた。6年生の児童が慣れない手つきでナマコを調理し、自ら調理したナマコを食べ、「おいしい」と。

⑦⑧カキ料理屋食会（中島保育園）：2月19日に地元食材に親しんでもらうため、中島保育園でカキ入りシーフードカレーや中島菜漬物が給食に出た。おいしいといって3杯おかわりした園児もいた。なお、中島保育園以外の中島地区の保育園でも同様の給食が出された。

⑨⑩⑪能登鍋コンテスト（七尾サンライフプラザ）：地元の食材を使ってオリジナルの鍋料理を作る「能登鍋」コンテストが2月4日行われた。参加者は、それぞれ独自の工夫をこらし、どれもおいしい「能登鍋」に仕上がし、甲乙付けがたい作品に。入賞者は、写真のとおり。



1月28日:叶田さん宅

1月28日、叶田イトエさんの自宅にて100歳(明治42年1月18日生まれ)の誕生日を祝った。長男夫婦と孫夫婦に囲まれて、幸せな毎日過ごしている。「今が一番幸せ、ありがとう」と笑顔で答えていた。

百寿(100歳)お誕生日おめでとう 〜叶田イトエさん〜



1月31日:鉦打公民館

4年に1度、今回で10回目を数える「鉦打地区郷土芸能祭」。住民数は以前に比べ減ったが、地区の団結力は以前のまま！みんなで盛り上げようと、踊り、太鼓、芝居など39演目が上演。会場は大盛り上がり！また4年後が楽しみ♪

4年に1度の大舞台！ 〜鉦打地区郷土芸能祭〜



2月1日:いしかわ子ども交流センター七尾館

2月1日、節分にあわせて「超長い太巻き作り」が行われた。子どもたちは慣れない手つきで調理し、海苔に盛ったご飯の上に順に具材を並べたあと、息を合わせて「せーの」と一気に巻いた。3.66mとやや短めだがキレイに仕上がった。

超長い太巻き作りに挑戦！ 『今年は何メートルの長さ？』



2月14日:住吉神社

市指定無形民俗文化財「田鶴浜の左義長」が地区の壮年会によって行われた。昼過ぎになり、まちのあちこちから人が神社に集まり、積み上げられた正月のお供物や書初めなどが神事の後に燃やされた。これからも良き伝統を守って。

伝統を守り続ける壮年会 〜田鶴浜左義長〜



2月14日:いしかわ子ども交流センター七尾館

2月14日は、バレンタインデー。子どもたちが心を込めてバレンタインチョコ作りを行なった。女の子たちは、誰にチョコをあげるのか、みんな夢中。出来上がった手作りチョコを最後にラッピングして…。

心を込めて大好きな人に♡ 〜バレンタインチョコ作り〜



2月15日:フォーラム七尾

七尾市各種女性連絡協議会は、「女性はあとふる議会」と題して、市議会さながらに市長に質問を投げかけた。女性の視点で考え、女性の自立と資質の向上につなげようと、教育、福祉、環境と各分野ごとに積極的な意見が。

活発な意見に、市議会さながら 〜女性はあとふる議会〜